



お問い合わせフォーム

# お問い合わせフォーム

Comunica Templates のテンプレートでは、H.Fujimoto さまが開発されております Movable Type 用メールフォームプラグインに対応するテンプレートセットをご用意しております。

※ご用意させて頂いておりますテンプレートセットは1つです。この1つのテンプレートセットは、メールフォームプラグイン V2.20 (MT5.0 系)、V2.30b1 (MT5.1 系)、V2.30 (MT5.2)、のいずれのバージョンのプラグインにもご利用いただけます。

H.Fujimoto さまのサイト	<a href="http://www.h-fj.com">http://www.h-fj.com</a>
MT5.0 系用メールフォームプラグイン V2.20 について	<a href="http://www.h-fj.com/blog/mt5plgdoc/mailformv2_2.php">http://www.h-fj.com/blog/mt5plgdoc/mailformv2_2.php</a>
MT5.1 系用メールフォームプラグイン V2.30b1 について	<a href="http://www.h-fj.com/blog/archives/2011/05/19-172104.php">http://www.h-fj.com/blog/archives/2011/05/19-172104.php</a>
MT5.2 用メールフォームプラグイン V2.30 について	<a href="http://www.h-fj.com/blog/archives/2012/07/25-102934.php">http://www.h-fj.com/blog/archives/2012/07/25-102934.php</a>

この「メールフォームプラグイン」を使用することで、サイトの「お問い合わせ」ページに「お問い合わせフォーム」を設置することができます。

ここでは、既に、「メールフォームプラグイン」が Movable Type にインストール（サーバにアップロード）されていることを前提に、メールフォーム用テンプレートセットを使用して、基本的なお問い合わせフォームを作成するまでをご説明いたします。

※以下にご説明させていただきます内容は、MT5.0 系用の V2.20、MT5.1 系用の V2.30b1、MT5.2 用の V2.30 プラグインのいずれにも該当する内容です。  
プラグインのバージョンの違いによる説明の相違はございません。

「メールフォームプラグイン」のライセンスや使い方における詳細は、H.Fujimoto さまの上記 URL 先をご参照ください。

## 目次

---

- (1) [テンプレートセットをサーバにアップロード](#)
  - (2) [サンプルテンプレートのインストール](#)
  - (3) [メールフォームの基本設定](#)
  - (4) [注意事項](#)
-

## (1) テンプレートセットをサーバにアップロード

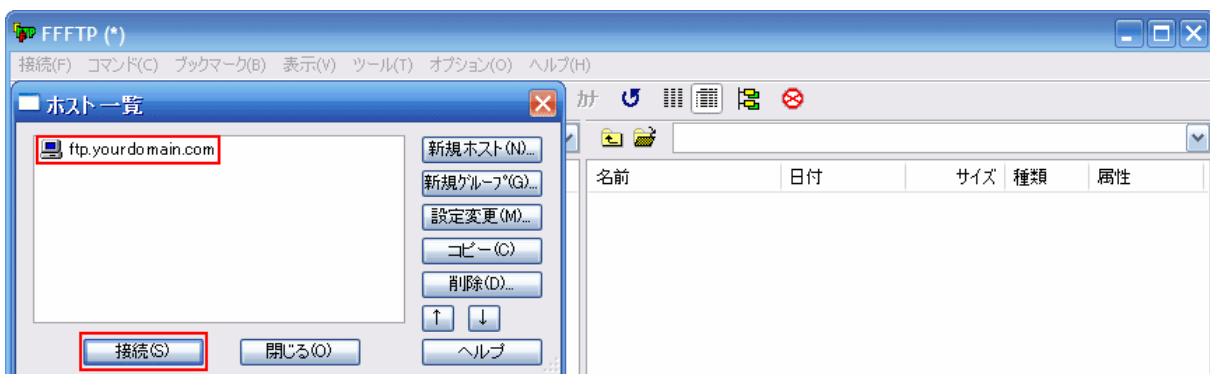
(ご参考URL : <http://www.h-fj.com/blog/archives/2009/10/01-084125.php>)

Comunica Templates より「メールフォームプラグイン」用に用意されているテンプレートセットを、サーバにアップロードします。FTP クライアントを立ち上げます。

(ここでは FFFTP を使用します。)

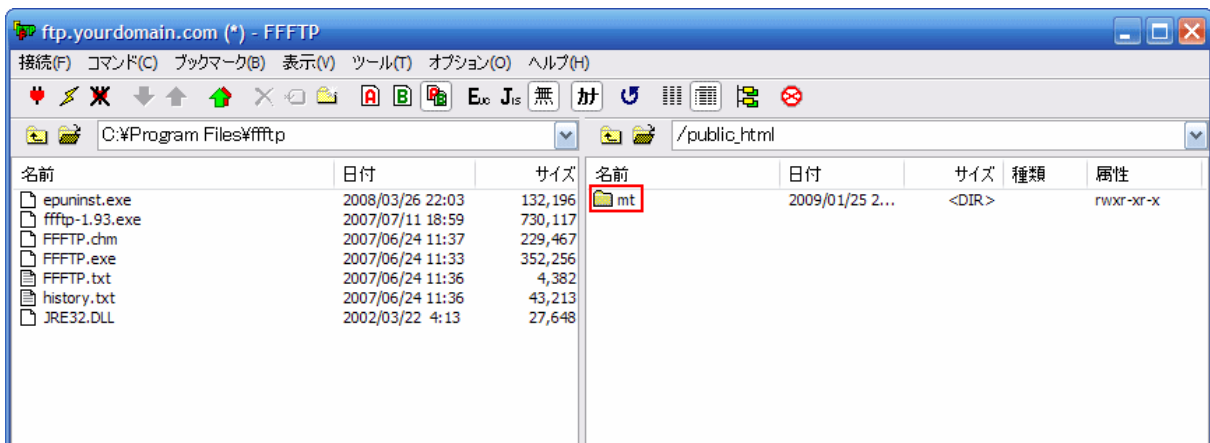
Movable Type をインストールしているドメインの FTP サーバに接続します。

ここでは、例として「ftp.yourdomain.com」を選択し、「接続」をクリックします。

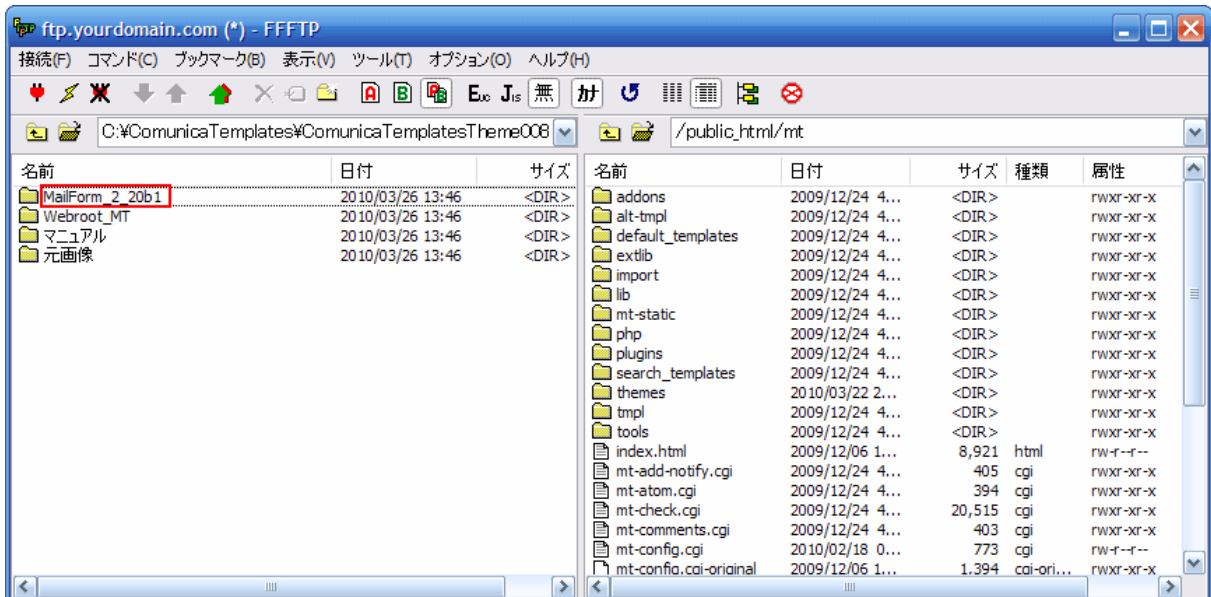


FTP サーバへ接続ができれば、事前にサーバにインストール済みである Movable Type のフォルダを開きます。

ここでは、公開フォルダである「public\_html」直下の「mt」というフォルダに Movable Type がインストールされていますので、右側パネルにある「mt」というフォルダを開きます。

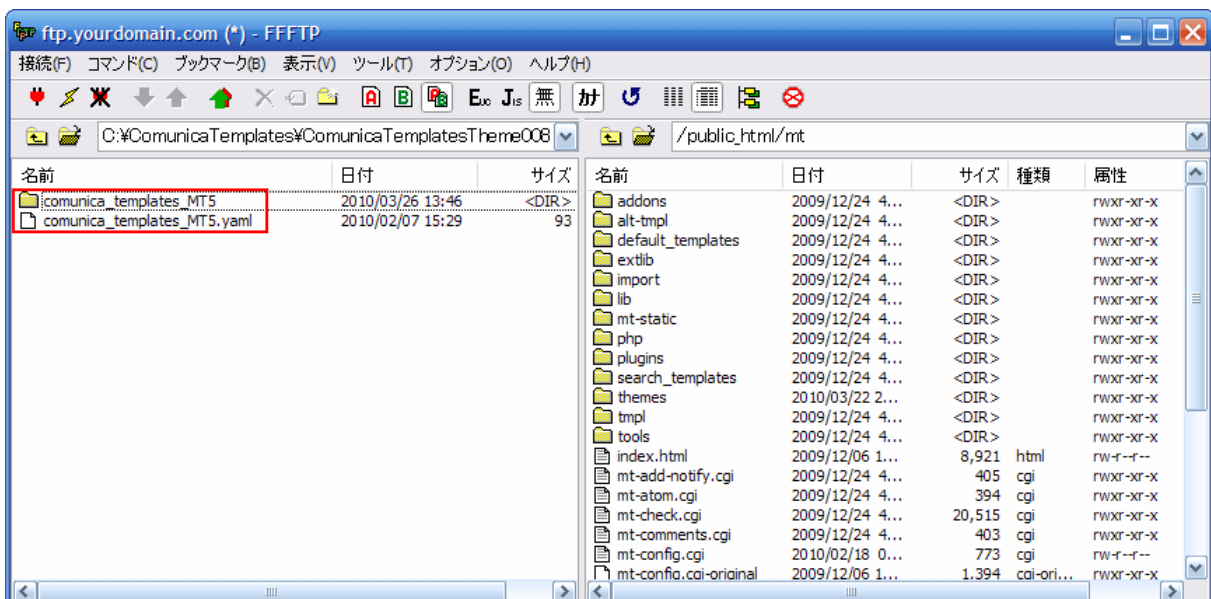


次に、左側パネルにて、ダウンロードしたテンプレートフォルダの中から「MailForm\_2\_20b1\_&\_2\_30b1」フォルダを表示、これを開きます。

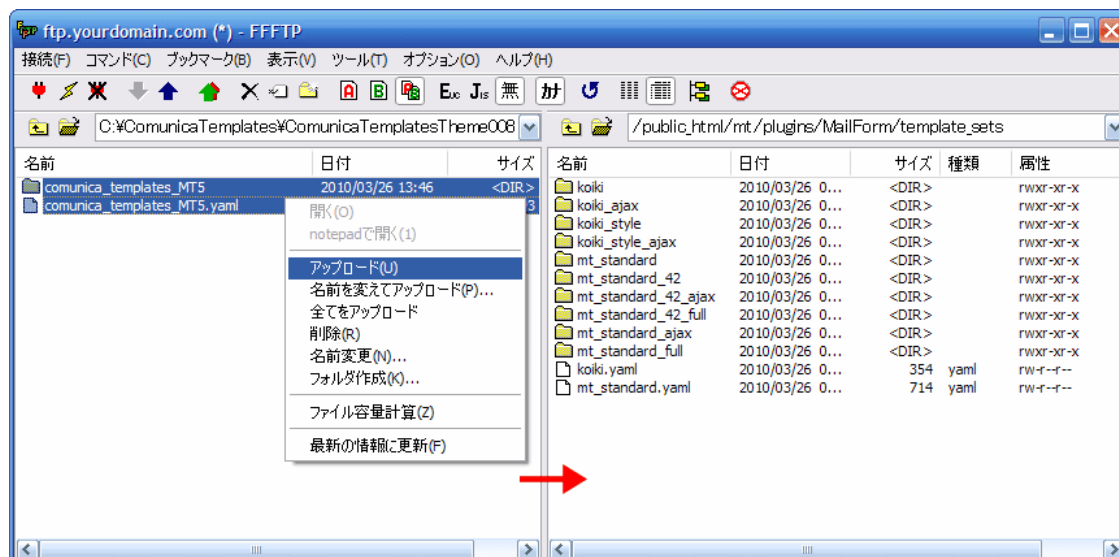


中には「plugins」というフォルダが入っていますので、この「plugins」フォルダを更に開き、「plugins > MailForm > template\_sets」の順で「template\_sets」まで開きます。

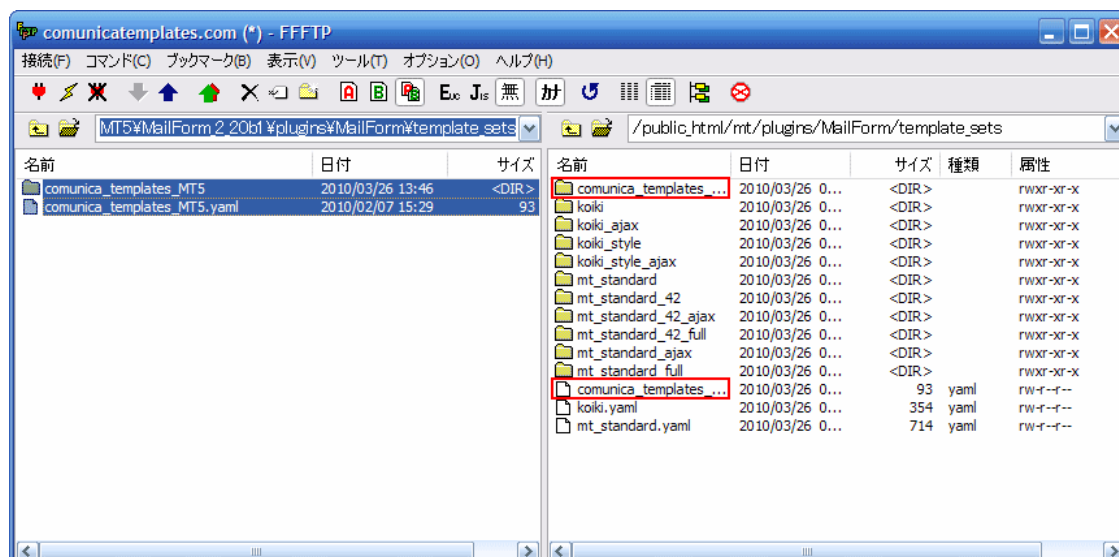
「template\_sets」の中には、「メールフォーム」用のテンプレートセットが入っており、ここでは、「comunica\_templates\_MT5」と「comunica\_templates\_MT5.yaml」が入っています。



この「comunica\_templates\_MT5」と「comunica\_templates\_MT5.yaml」を、右側パネルの「plugins」フォルダの中にある「template\_sets」フォルダの中にアップロードします。「template\_sets」フォルダへは、「plugins > MailForm > template\_sets」の順でアクセスすることができます。



無事にアップロードが終わり、「comunica\_templates\_MT5」と「comunica\_templates\_MT5.yaml」が、サーバ側（右側パネル）にアップロードされました。



これで、「メールフォームプラグイン」用テンプレートセットの、サーバへのアップロードは終了です。FTPの画面を閉じます。

## (2) サンプルテンプレートのインストール

(ご参考URL : <http://www.h-fj.com/blog/archives/2009/10/02-141022.php>)

ここでは、先ほどサーバにアップロードしたテンプレートセットを、Movable Type にインストールします。

Movable Type にアクセスし、「First Website」の管理画面を表示します。

先ほど、サーバに「メールフォーム」用のテンプレートをアップロードしましたので、左のサイドナビゲーションに「メールフォーム」の項目が増えています。この「メールフォーム」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「サンプルテンプレート」をクリックします。



「サンプルテンプレートのインストール」というタイトルのページに移ります。

「テンプレートセット」の箇所に「ComunicaTemplates 用 (MT5)」を選択します。「メールフォームテンプレートの名前」を「お問い合わせ」とし、「メールフォームの出力ファイル名」を「contact.html」にします。

※Comunica Templates のテーマで、グローバルナビにある「お問い合わせ」の箇所として「メールフォーム」を設置する場合、出力ファイル名は必ず「contact.html」にしてください。(グローバルナビゲーションの関係です。)

その他のテンプレートの名前は、そのまま初期設定の名称を使用します。設定が終わりましたら、ページ下方にある「インストール」ボタンをクリックします。



「インストール」ボタンをクリック後、以下の画面が表示され、無事にインストールが終了したことがわかります。



次は、「メールフォーム」の基本設定を行います。



### (3) メールフォームの基本設定

(ご参考URL : <http://www.h-fj.com/blog/archives/2009/10/04-090903.php>)

ここでは、先ほどインストールした「サンプルテンプレート」を使用して、「メールフォーム」の基本設定を行います。

先ほどの Movable Type 管理画面より、左のサイドナビゲーションの「メールフォーム」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「新規」をクリックします。

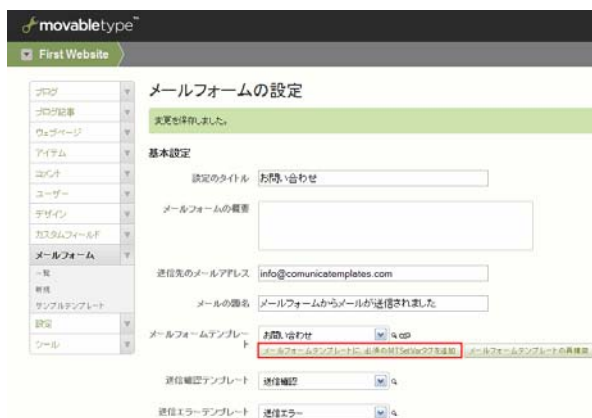


「メールフォームの設定」というタイトルのページが表示されますので、「設定のタイトル」に「お問い合わせ」と入力し、「メールアドレス」など正しいかどうかを確認し、ページ下方にある「変更を保存」ボタンをクリックします。



「変更を保存しました。」というメッセージが表示されます。

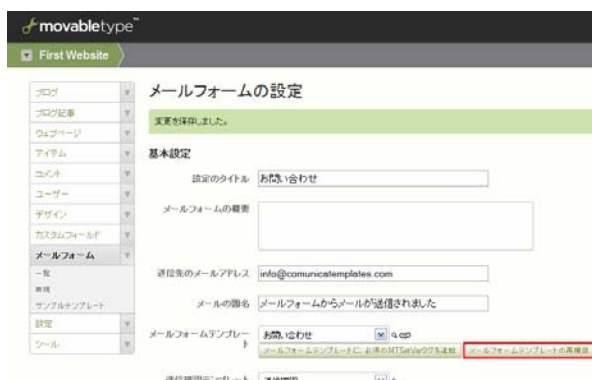
次に、同じ「メールフォームの設定」画面で、「メールフォームテンプレート」の項目にある、「メールフォームテンプレートに、必須の MTSetVar タグを追加」ボタンをクリックします。



クリック後、「MTSetVar タグの挿入」というタイトルのポップアップウィンドウが表示されます。ボタンをクリックすることで、自動的に「MTSetVar タグの挿入」がなされており、「mail\_setting」という MTSetVar の「name」に対し、「設定のタイトル」である「お問い合わせ」が「value」として設定されます。これを確認後、右下の「閉じる」ボタンをクリックします。



ポップアップウィンドウを閉じたら、「メールフォームの設定」画面に戻り、「メールフォームテンプレートに、必須の MTSetVar タグを追加」ボタンの右側にある「メールフォームテンプレートの再構築」ボタンをクリックします。



「メールフォームテンプレートの再構築」というタイトルのポップアップウィンドウが表示され、「メールフォームテンプレートを再構築しました」とメッセージが出ますので、右下にある「閉じる」ボタンをクリックします。



これで「メールフォーム」の基本的な設定は終了です。作成されたメールフォームを確認します。右側メニューにある「メールフォームの表示」か、「メールフォームテンプレート」の項目欄にある「メールフォームの表示」のアイコン（楔形のアイコン）をクリックします。



「お問い合わせ」のページが表示されます。「お問い合わせフォーム」の上に表示されているのは、「サイトの構築方法」(O2\_HowtoBuild.pdf) にて、「(1-1-2) お問い合わせページを作成」の箇所で作成した内容です。ここは、自由に変更してお使いください。



## (4) 注意事項

Comunica Templates のテーマには、「メールフォーム」の無い「お問い合わせ」用のページが予め用意されており、そのファイル名は「contact.html」です。

テーマで用意されている「お問い合わせ」ページとしてページを作成するには、そのファイル名が「contact.html」でなければならないので（グローバルナビゲーションの「お問い合わせ」用リンク先が「contact.html」である為）、今回メールフォームを作成した際も、メールフォーム用テンプレートの出力ファイル名として、「contact.html」を指定しました。

これにより、出力ファイル名が「contact.html」になっているインデックステンプレートが2つ存在することになりますので、使用しない方のテンプレートを削除します。（**削除したくない場合は、ファイル名を変更します。**ここでは、ファイルを削除する方法をご説明します。）以下は、その手順です。

「First Website」の管理画面を表示します。左のサイドナビゲーションの「デザイン」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「テンプレート」をクリックします。

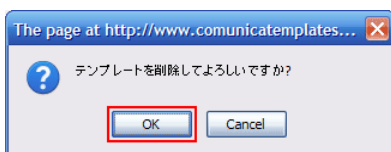


「ウェブサイトテンプレートの管理」というページが表示され、「インデックステンプレート」がリストされていますので、使用しないテンプレートである「お問い合わせ」の左側のチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。

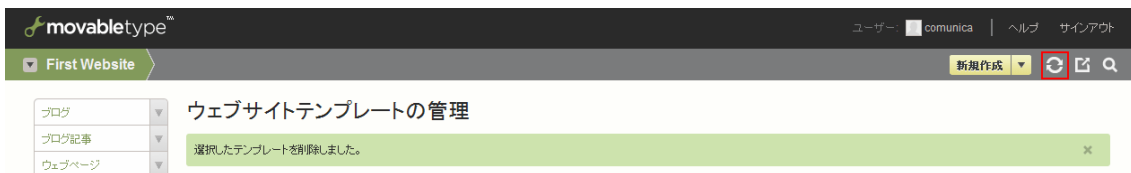
※「お問い合わせ」テンプレートを削除したくない場合は、「お問い合わせ」をクリックし、「テンプレートの編集」画面が表示されますので、ページ下方にある「テンプレートの設定」をクリック、「出力ファイル名」のところにある「contact.html」を「\_contact.html」などの名前に変更します。そして、「変更を保存」ボタンをクリックします。



「テンプレートを削除してよろしいですか？」とポップアップウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



「選択したテンプレートを削除しました。」とメッセージが表示されますので、テンプレートが削除されたことがわかります。次に、サイトを再構築します。「サイトを再構築」ボタンをクリックします。



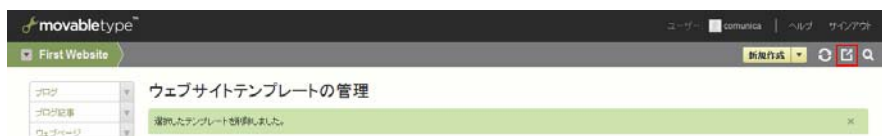
「First Websiteの再構築」というポップアップウィンドウが出てきますので、「再構築」のところのプルダウンメニューから「インデックスのみ」を選択し、「再構築」ボタンをクリックします。



「インデックステンプレートを再構築しました。」というメッセージが表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックし、ポップアップウィンドウを閉じます。



「サイトの表示」ボタンをクリックし、サイトを確認します。



「お問い合わせ」ページを表示し、問題がないことを確認します。



これで、「お問い合わせフォーム」についての説明は終了です。  
お疲れ様でした。